

精神分裂病を 考える



- ① 分裂病で何が本質的な症状とお考えでしょうか？
- ② 分裂病の成因として何が重要だとお考えでしょうか？
- ③ 分裂病の治療に何が最も必要とお考えでしょうか？
- ④ 人類は21世紀前半に分裂病を克服できるとお考えでしょうか？

- ①——分裂病で何が本質的な症状とお考えでしょうか？
- ②——分裂病の成因として何が重要だとお考えでしょうか？

弘前大学教授 兼子 直

① 認知障害と自我の統合障害。

② 分裂病は多因子性疾患と考えるが、その基底において遺伝子の関与が重要である。つまり、遺伝的に規定された脆弱性に何らかの stress が加わり、発症するのではないか。

前頭葉―辺縁系のドーパミン、グルタミン酸などの受容体変化、遊離変化などは二次的現象であり、本質的ではない。しかし、その process を modify することで治療しようとする考えには反対しない。

③ 社会適応性を低下させている症状は可及的速やかに治療しなければならぬが、現在、決定的手段がない。従って、当面は陽性症状に対して薬物療法、陰性症状に対して精神科リハビリテーション的接近が現実的。

④ 分裂病の病態説明は責任遺伝子（おそらく複数が存在）の同定とその機能解析により大きく進展する。

その根拠は Human Genome Project の進展により、遠くない未来にヒトの遺伝子構造が明らかにされる。従って、努力次第では家系別に責任遺伝子の解析も可能となり、幾

- ③——分裂病の治療に何が最も必要とお考えでしょうか？
- ④——人類は21世紀前半に分裂病を克服できるとお考えでしょうか？

つかの原因遺伝子が同定されると、
それに対応した治療策が考えられる
からである。